



さいじょう

2019年5月1日発行

市議会だより

第62号



みずきの
ええとこ発見!

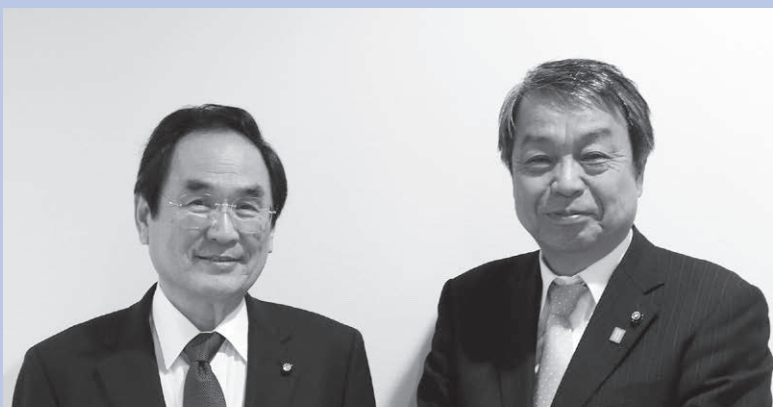


新時代へ、発進!!

西条高等学校 書道部の皆さん

新しい議会構成が決まりました

2月18日に開会された臨時会において、正副議長の選挙、常任委員会・議会運営委員会・特別委員会委員の選任、正副委員長互選など、新しい議会の組織構成が決まりました。



副議長 武田 功 議長 行元 博

正副議長就任挨拶

この度、西条市議会議長並びに副議長の重責を担うことになり、あらためて身の引き締まる思いであります。

市民の皆様のさまざまな声に耳を傾け、その声を反映させるよう迅速に取り組んでいくとともに、議員一人一人がその使命、役割、責務を自覚し、よりいっそう信頼される議会を目指して、努力して参る所存であります。

新しい時代が幕を開け、本市にとりましても、感動が生まれ、記憶に残る1年になることを念願し、公正かつ円滑な議会運営に努めて参りますので、格別のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

正副議長退任挨拶

就任以来、市民に開かれた議会の構築を目指し、初めてとなる議会報告会の開催や情報公開の推進など、議会の活性化に積極的に取り組んで参りました。

大過なく重責を全うできましたことは、ひとえに皆様がたのご協力とご支援のたまものであり、深く感謝を申し上げる次第であります。

今後も、この経験を生かし、魅力あふれる西条の実現に向け、議会の役割をしっかりと果たして参りたいと考えておりますので、なにとぞご指導を賜りますようお願い申し上げます。



前副議長 高橋 章 哲



前議長 児玉 千 春

議会一口メモ

委員会とは？

市議会では、限られた会期中で多くの議案を審議するため、複数の委員会を設置し、本会議での議決に先立ち、専門的かつ詳細な審査を行っています。

西条市議会
マスコットキャラクター
みずき議員

2月臨時会における議案などの審議結果

議案等番号	件 名	議決結果	議案等番号	件 名	議決結果
選挙第1号	西条市議会議長の選挙について	投 票	選任第3号	西条市議会臨海地域振興整備特別委員会委員の選任について	議長指名
選挙第2号	西条市議会副議長の選挙について		選任第4号	西条市議会水資源調査特別委員会委員の選任について	
選任第1号	西条市議会常任委員会委員の選任について	議長指名	選任第5号	西条市議会議会活性化推進特別委員会委員の選任について	
選任第2号	西条市議会議会運営委員会委員の選任について		選任第6号	西条市議会道前クリーンセンター整備調査特別委員会委員の補欠選任について	
	各常任委員会及び議会運営委員会所管事務調査事項の決定について	原案可決			

産業建設委員会

産業経済部・農林水産部・建設部・農業委員会の所管
に属する事項の調査・審査（委員7人）

◎藤井 武彦
井上 浩二
西坂 壽
伊藤 新平

○佐々木 充
岡村 重治
楠 學

予算委員会

 新たな委員会です！

予算に関する事項の調査・審査（委員30人）
※平成31年2月20日付け議員辞職により、1人欠員

◎一色 輝雄

○児玉 千春

予算委員会とは

- ・全議員で構成する委員会です。
- ・既設の委員会に対応する分科会を設置し、能率を図り詳細に審査します。

議会運営委員会

議会運営、議会の会議規則、委員会に関する条例など
に関する事項・議長の諮問に関する事項・議会広報に
関する事項の調査・審査（委員10人）

◎児玉 千春
越智 絹恵
青野 貴司
楠 學
藤田 節雄

○岡村 重治
高橋 章哲
一色 輝雄
伊藤 新平
伊藤 孝司

特別委員会

議会活性化推進特別委員会

◎一色 輝雄
佐伯 利彦
三好 和彦
山地美知一
児玉 千春

○高橋 保
城戸 力
御荘 秀樹
臼坂 均
伊藤 新平

道前クリーンセンター整備調査特別委員会

（補欠選任） 児玉 千春

本委員会は、3月定例会最終日に「道前クリーン
センターの整備については、基幹的設備改良を行っ
たあと、10年後に更新する方法が適当」とする調
査報告をもって調査・研究を終了し、消滅しました。

総務委員会

経営戦略部・総務部・財務部・会計管理者・選挙管理
委員会・監査委員・公平委員会・固定資産評価審査委
員会の所管に属する事項及び他の委員会に属さない事
項の調査・審査（委員8人）

◎川又由美恵
城戸 力
青野 貴司
一色 輝雄

○三好 和彦
越智 俊幸
武田 功
藤田 節雄

福祉文教委員会

福祉部・こども健康部・教育委員会の所管に属する事
項の調査・審査（委員8人）
※平成31年2月20日付け議員辞職により、1人欠員

◎御荘 秀樹
今井 廣一
行元 博
伊藤 孝司

○高橋 保
越智 絹恵
高橋 章哲

環境消防委員会

市民生活部・環境部・消防の所管に属する事項の調査・
審査（委員7人）

◎佐伯 利彦
山地美知一
坪井 剛
堀江 幸二

○真鍋 顕伸
臼坂 均
児玉 千春

臨海地域振興整備特別委員会

◎藤田 節雄
佐伯 利彦
藤井 武彦
川又由美恵
堀江 幸二

○坪井 剛
高橋 保
今井 廣一
一色 輝雄
伊藤 孝司

水資源調査特別委員会

◎岡村 重治
真鍋 顕伸
藤井 武彦
川又由美恵
越智 俊幸

○高橋 章哲
佐々木 充
井上 浩二
西坂 壽
楠 學

◎…委員長 ○…副委員長

3月 定例会

**平成31年度当初予算（総額793億5,644万円）、
平成31年度補正予算（総額7億7,352万9千円）、
平成30年度補正予算（総額32億363万8千円）を可決！**

平成31年第2回3月定例会は2月26日から会期23日間で開催し、3月20日に閉会しました。

この間、市長提出の議案43件を審議し、最終日の3月20日には、議案などの採決を行いました。

また、3月4日から6日の3日間、3会派の代表者が代表質問を、議員15人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に4ページから8ページに掲載しています。

自民クラブ

伊藤 孝 司 議員



（代表質問）

- 1 平成31年度に向けての市長の所信について
- 2 外国人労働者の受け入れ拡大について
- 3 水問題について

勝ち残る自治体になるための経営戦略は？

問

人口急減・超高齢社会が到来することにより、生産年齢人口の減少に伴う産業活動への影響や社会福祉経費の増加による行財政運営への影響など、さまざまな問題が山積しているが、そうしたことを憂慮しているばかりでは一歩も前に進めない。市長は「都市間競争におけ

る生き残りではなく、勝ち残るまちを目指す」という表現をしているが、本市が地域主権時代を勝ち抜いていくために、今後、具体的にどのような自治体経営を行っているのか。

答

平成31年度は陸上の三段跳びに例えると、未来（あす）への大ジャンプにつなげるための力強いステップの1年であり「未来（あす）への挑戦」をキャッチフレーズに、各種施策に積極的に取り組むこととしている。

本市が、生き残りではなく、勝ち残る自治体となるために、攻めの姿勢で市政運営に取り組んでいく一方で、次世代に過度な負担を残すことがないよう「低負担・高福祉」から「中負担・中福祉」への転換は避けて通れないところであり、市民への丁寧な説明を行いながら、行政システムや公共インフラの在り方について検討していくことが必要と考えている。

併せて、平成31年度は総合計画をはじめ各種計画の見直し時期に当たることから、あ

らためて将来人口をしっかりと見据えた上で、持続可能なまちづくりを進めていきたい。

堀江 幸 二 議員



（一般質問）

- 1 水資源の保全について
- 2 工業用地について
- 3 西条祭りについて
- 4 高瀑の滝について

西条の水資源を

守り抜く！

問

松山市からの分水の要望に対して、市外に水を出すべきではないと思うが、地下水の現状と過去の渇水状況を踏まえて、どのように考えているのか。

答

西条平野では、農業用水の地下水利用が急増する灌漑期に加茂川の流量が低下すると地下水位が大幅に

下がり、沿岸部で地下水の塩水化が進行すること、周桑平野では、扇状地の末端地域で硝酸態窒素濃度が高いことが問題となっている。

近年の渇水状況は、平成6年の大渇水以降、平成17年、19年、20年にも少雨のため地下水位が低下し、自噴が止まるなどの渇水状況に見舞われたが、その後、降雨により渇水が解消されている。

こうした状況から、特に、西条平野の主たる地下水涵養源である加茂川の水資源は、流域内で有効に活用し、先人が築き上げてきた地域資源として、市の発展のために、次の世代に渡すことが務めであると考えている。



灌漑期に流量が低下する加茂川

井上 浩二議員



(議案質疑)

1 学校給食運営検討事業について

(一般質問)

1 小・中学校へのスマートフォン等の持ち込みについて

2 事前設置型特設公衆電話について

**災害時に無料で使える
特設公衆電話の設置を！**

問

特設公衆電話は、災害時優先電話としてつながりやすく、停電時でも使用することができると、避難所への設置は必要不可欠だと思うが、今後、導入する計画はあるのか。

また、導入するのであれば、スケジュールや設置場所の選定についてはどのように考えているのか。

答

特設公衆電話は、災害時の通信規制によって携帯電話が混み合い、つながりにくいときなどの有効な通信手段として必要であると認識しており、設置についてNTTと協議を進めている。今後、設置する避難所を選定し覚書を締結した後、NTTが工事に着手するため、現在、覚書を交わす手続きを進めているところである。なお、設置場所については、基本的に市内の全ての指定避難所に設置する方向で検討している。

今井 廣一議員



(一般質問)

1 東予運動公園及び丹原総合公園多目的広場の使用について

**施設使用料が前納に
変更になった理由は？**

問

平成31年2月から東予運動公園及び丹原総合公園多目的広場の使用料を前納するよう変更になった。予約日が雨天になった場合、返金の手続きが必要になってくるが、どのように対応しようと考えているのか。

答

施設使用料については、西条市有料公園施設設置及び管理条例により前納することが定められているため、これまで使用料が前納されていなかった東予運動公園や丹原総合公園などについて改善を行った。なお、荒天など、施設管理者の判断で使用できなかった場合は、既に納付し



東予運動公園

三好 和彦議員



(議案質疑)

1 小学校管理費、中学校管理費、幼稚園管理運営費、公民館管理運営費について

2 母子健康診査事業について

た使用料を銀行振り込みで還付できることになっており、小雨などの場合は原状回復を条件に使用を許可している。

答

3歳児健診において視覚異常が見逃されると治療が遅れ、じゅうぶんな視力が得られないことがあるため、視覚スクリーニング検査機器を導入することになった。活用方法としては、毎月、3歳児健診会場である中央保健センターと東予保健センターに機器を持参し、保育士などが操作する予定であり、既に3歳児健診を受けた未就学児についても、保護者の希望があれば検査することも考えている。機器の台数は、年間の子定利用人数や回数から1台で足りると考えており、今後、導入後の受診者数や診断結果を確認しながら効果や検査の実施方法を検証したい。

**市民の声が市政に！
「視覚検査機器」導入へ**

問

乳幼児の視覚異常を早期発見し有効な治療につなげるため、視覚スクリーニング検査機器の導入について平成30年6月定例会で質問した。今回、導入予算が計上されているが、どのように活用しようと考えているのか。



スクリーニング検査

西条自民クラブ

楠 學 議員



- (代表質問)
- 1 本市の将来像に関する市長の考え方について
 - 2 国際交流について

道前クリーンセンター 更新の見通しは？

問 過去に建設された多くの公共施設が老朽化しているが、更新が必要とされる道前クリーンセンターについては、どのような整備スケジュールと費用を見込んでいるのか。

答

直ちに施設を更新する場合、新施設は最短で平成39年度から供用開始される見込みだが、用地の決定な



老朽化している道前クリーンセンター

どに時間を要すると供用開始が遅れる可能性がある。また、施設の基幹的設備を改良した後に更新する場合、平成36年度までに基幹的設備を改良し、現施設を10年間稼働させ、その間に新施設の計画・建設を行い、平成47年度から供用開始する見込みとなる。新施設の建設費用は現時点で算出できていないが、修繕などに要する経費は、更新する場合、約63億3千800万円が必要で全額一般財源となる。一方、基幹的設備の改良を行った後に更新する場合は、約63億5千300万円が必要となるが、交付金と合併特例債を合わせて約34億9千600万円を充てることできる。

藤井 武彦 議員



- (議案質疑)
- 1 スマートシティ構築トリアル事業について
 - 2 骨髄バンクドナー支援事業について

骨髄バンクドナー登録者の 増加策を！

問 骨髄バンクドナー登録者数を増やすことが急務であるが、骨髄バンクドナー支援事業により得られる効果をどのように考えているのか。

答

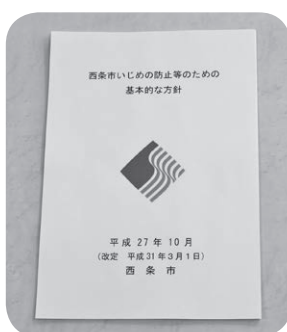
骨髄移植するドナーの検査や入院費用は無料であるが、休業補償は行われていないため、移植の実現には、ドナー本人の経済的負担の軽減と併せ、勤務事業所からの後押しも重要である。こうした状況を踏まえ、本事業では、

1回の骨髄などの提供につき、ドナーに対して10万円、勤務事業所に対して5万円を助成する内容としている。
本制度の創設により、ドナーの経済的な負担が軽減され、とともに、勤務事業所からの理解も得やすくなるものと思われる、その結果、ドナー登録者が増えることにより適合者が増え、更には、適合後の辞退者も減れば、一人でも多くの命が救えるものと期待している。

高橋 保 議員



- (議案質疑)
- 1 ローカルファンド構築推進事業について
 - (一般質問)
 - 1 平成31年度の教育行政方針について
 - 2 持続可能な開発目標(SDGs)の取組について



基本方針

答 平成27年度の「西条市の基本的な方針」策定以降、学校では、いじめに対し組織的に対処するようになり、早期発見、早期解決につながっている。
また、いじめ防止等対策連絡協議会や西条市いじめSTOP小・中学生会議を開催するなど、児童・生徒一人一人を大切にする教育の推進に取り組んでいる。

問 いじめ防止対策推進法施行後もいじめを苦しめる児童や生徒が自ら命を絶つケースが相次いでいる。いじめは重大な人権侵害であり、絶対に許されない行為であるが、いじめの防止に向け、どう取り組んでいるのか。

後を絶たないいじめ被害
防ぐための取組は？

西条市民 クラブ

岡村 重 治 議員



(代表質問)

- 1 平成31年度施政方針及び当初予算について
- 2 市民の健康を守る各種施策について

**地域医療の充実に向け
積極的な対策を！**

問

一分一秒を争う救急時における医師不足の問題は、地域住民が危惧するところである。医師の確保について、どのような対策を考えているのか。

答

医師確保奨学金貸付制度や県の産科医等確保支援事業補助金への追加補助、愛媛大学との地域医療寄附講

座の開講など、医師確保に取り組んでいる。今後も国や県に対し、制度改正や医師配置の要望を行うとともに、医師確保施策を推進し、医療サービス提供に努めていく。

佐伯利彦 議員



(議案質疑)

- 1 石鎚黒茶製造技術調査事業について
- 1 文化財等の効率的な展示・活用について

**歴史・文化に触れる
特色豊かな展示を！**

問

文化財などの工夫を凝らした展示に向けて、どのように取り組むのか。

答

平成28年度から文化財などの分野別管理を進めており、引き続き、収蔵ス

ペースを確保し、偉人顕彰や地域性を生かした展示など、各施設の魅力をPRできる施設運営に努めていきたい。

佐々木 充 議員



(一般質問)

- 1 児童虐待防止について

**子どもたちの
心身健やかな成長を！**

問

児童虐待の防止に向け、親から子への体罰禁止の法制化や懲戒権の見直しなどの動きが高まっているが、児童福祉法・児童虐待防止法改正に対する認識はどうか。

答

児童相談所における児童福祉士、児童心理士の増員や体罰禁止の規定など、国が法改正の検討を進めているため、動向を注視し、児童虐待の防止に努めていきたい。

公明党 西条市議員団

越智 絹 恵 議員



(一般質問)

- 1 市営住宅の入居要件について
- 2 小・中学校のいじめについて
- 3 小・中学校の体育館について
- 4 SNSを活用した市民通報システムについて

**子どもたちが利用しやすい
相談窓口の設置を！**

問

教育長による電話相談窓口「さいじょうこどもホットライン」の利用状況はどうか。

答

相談実績はまだなく、チラシの掲示や電話番号

号を記載した教育長のオリジナル名刺などで周知している。

城戸 力 議員



(議案質疑)

- 1 学校現場における業務改善加速事業について
- (一般質問)
- 1 デジタル・ガバメントについて

**多忙な教職員を支える
スクールサポートスタッフ**

問

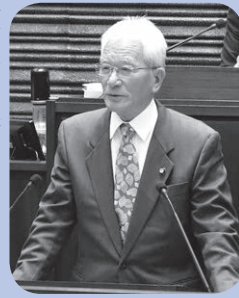
学校の教育活動に参画するスクールサポートスタッフの導入によって、どのような効果が得られるのか。

答

導入により、学校現場の事務負担が軽減し、教職員が本来の業務に専念できる環境に改善されるため、教職員の満足度が向上することが見込まれる。

日本共産党
西条市議員団

青野 貴 司 議員



- (議案質疑)
- 1 人権対策活動事業について
 - 2 産業用太陽光発電設備について
- (一般質問)
- 1 自衛官募集に係る対象者情報の提供について

条例に抵触していないか！
個人情報提供

問 自衛隊から要請のあった自衛官募集に係る対象者情報を提供しているが、西条市個人情報保護条例に抵触するのではないか。

答 自衛隊法等の規定に基づいて遂行される適法

な事務であるとの内閣の見解が示されており、この見解に基づいて実施している。

山地 美知一 議員



- (一般質問)
- 1 市営住宅について
 - 2 国民健康保険税について

国民健康保険税
負担の軽減を！

問 消費税増税を見越した国民健康保険税の負担軽減措置について、どのように考えているのか。

答 消費税増税による地方消費税交付金は、教育負担の軽減、子育て層支援、介護人材の確保などに充当されることから、国民健康保険税の負担を軽減することは難しいと考えている。

会派に
属さない議員

高橋 章 哲 議員



- (議案質疑)
- 1 水産振興対策事業について
 - 2 児童虐待について
- (一般質問)
- 1 新設する人権擁護課について

児童虐待防止の
対応強化を！

問 児童虐待の根絶に向けて、どのように考えているのか。

答 地域全体の問題であり、児童相談所や警察、弁護士会などと連携するほか、スクールロイヤー制度を活用するなど、児童の生命を守る

ことを最優先に取り組みたい。

御 莊 秀 樹 議員



- (議案質疑)
- 1 賦課徴収費について
 - 2 (仮称)新泉町団地整備事業について

周辺住民に配慮した
新泉町団地の整備を！

問 新泉町団地の完成後、入居者などの車両による通行量増加が予想されるが、対応をどう考えているのか。

答 市道国道朔日市線(通称・新玉通り)から駅南方面へ通り抜ける道路の整備要望が周辺自治会からあり検討していたが、用地確保に課題がある。拡幅した在来道路が一定の役割を果たすと考えており、完成後の通行状況を見て対応を検討したい。

真 鍋 頭 伸 議員



- (議案質疑)
- 1 アウトドアオアシス石鎚指定管理委託料、西条市アウトドア活動拠点施設の指定管理者の指定について
- (一般質問)
- 1 森林整備と林業振興について

森林は水の源
計画的な間伐の実施を！

問 市単独の環境税を導入し、独自の間伐実施による森林整備を行う考えはないか。

答 市町村に交付される森林環境譲与税の活用を考えた後、多数の林業担い手が育成されて当該税額を上回る事業量が必要となった時点で財源を検討したい。

3月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議案第1号	平成30年度西条市一般会計補正予算(第11回)について	原案可決	議案第25号	市道楠浜北条線道路改良事業に伴う予讃線伊予三芳駅構内三芳こ線橋新設工事委託に関する変更協定の締結について	原案可決
議案第2号	平成30年度西条市介護保険特別会計補正予算(第4回)について		議案第26号	西条市アウトドア活動拠点施設の指定管理者の指定について	
議案第3号	平成30年度西条市公共下水道事業特別会計補正予算(第4回)について		議案第27号	西条市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例について	
議案第4号	平成30年度西条市港湾上屋事業特別会計補正予算(第1回)について		議案第28号	西条市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第5号	平成30年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計補正予算(第2回)について		議案第29号	西条市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第6号	平成30年度西条市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1回)について		議案第30号	西条市特別会計条例の一部を改正する条例について	
議案第7号	平成30年度西条市庄内財産区特別会計補正予算(第1回)について		議案第31号	西条市手数料条例の一部を改正する条例について	
議案第8号	平成30年度西条市壬生川財産区特別会計補正予算(第1回)について		議案第32号	西条市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例について	
議案第9号	平成31年度西条市一般会計予算について		議案第33号	西条市公共施設使用料減免条例の一部を改正する条例について	
議案第10号	平成31年度西条市国民健康保険特別会計予算について		議案第34号	西条市母子生活支援施設設置及び管理条例の一部を改正する条例について	
議案第11号	平成31年度西条市介護保険特別会計予算について		議案第35号	西条市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	
議案第12号	平成31年度西条市簡易水道事業特別会計予算について		議案第36号	西条市水道布設工事監督者が監督業務を行う水道の布設工事、布設工事監督者の資格及び水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例について	
議案第13号	平成31年度西条市公共下水道事業特別会計予算について		議案第37号	西条市火災予防条例の一部を改正する条例について	同意
議案第14号	平成31年度西条市港湾上屋事業特別会計予算について		議案第38号	西条市化学分析センター設置及び管理条例を廃止する条例について	
議案第15号	平成31年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計予算について		議案第39号	平成31年度西条市一般会計補正予算(第1回)について	
議案第16号	平成31年度西条市土地開発事業特別会計予算について		議案第40号	監査委員の任命について	
議案第17号	平成31年度西条市小松地域交流事業特別会計予算について		議案第41号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	異議なし
議案第18号	平成31年度西条市本谷温泉事業特別会計予算について		議案第42号	西条市壬生川財産区管理委員の任命について	
議案第19号	平成31年度西条市畑地かん水事業特別会計予算について		議案第43号	人権擁護委員候補者の推薦について	議長指名
議案第20号	平成31年度西条市庄内財産区特別会計予算について		選任第7号	西条市議会水資源調査特別委員会委員の補欠選任について	
議案第21号	平成31年度西条市壬生川財産区特別会計予算について		委員会提出議案第1号	西条市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第22号	平成31年度西条市後期高齢者医療保険特別会計予算について		議員提出議案第1号	「水の都」西条の水を守る決議について	
議案第23号	平成31年度西条市水道事業会計予算について		請願第7号	主要農作物種子法の復活を求める請願	継続審査
議案第24号	平成31年度西条市病院事業会計予算について			各常任委員会所管事務調査事項の変更について	原案可決

議員別議案賛否一覧表

上表は議案などの審議結果ですが、下表には賛否が分かれた議案の状況を掲載しています。(現議員数29人)

議 案 (賛成：反対)		議員名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
		眞鍋 顕伸	佐々木 利彦	佐伯 力	城戸 保彦	高橋 武彦	藤井 和彦	三好 廣一	今井 浩二	井上 浩二	(欠員)	御 莊 秀樹	山 地 美知一	岡 村 重治	越 智 絹 恵	川 又 由美恵	行 元 博	白 坂 均	坪 井 剛	西 坂 壽	越 智 俊幸	高 橋 章 哲	青 野 貴 司	武 田 功	児 玉 千春	一 色 輝雄	楠 學	伊 藤 新平	堀 江 幸二	藤 田 節雄	伊 藤 孝 司			
議案第 1 号	26：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	×	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第 9 号	26：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 10 号	26：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 11 号	26：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 22 号	26：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 40 号	16：11	○	○	○	○	○	○	×	×	×		○	○	○	○	○		○	×	×	×	×	○	○	○	○	除	○	×	×	×	×	×	×

※ ○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 除：除斥
※ 行元 博議員は、議長職のため表決に加わっていません。

議員提出議案

3月定例会最終日（3月20日）に、議員提出議案として、次の決議案が提出され、審議の結果、全会一致で原案可決しました。

「水の都」西条の水を守る決議

石鎚山脈を水源として、加茂川や中山川などから涵養される豊かな地下水は「水の都」西条の水文化の源であり、市民全体の財産であり誇りである。

この地下水は、自噴水「うちぬき」として市民生活を豊かに彩るとともに、工業用水や灌漑用水として産業に不可欠な水資源であることはもちろん、工業製品や農産物などのブランド力を高め西条市産品の競争力向上にも大きな役割を果たしている。このように、西条市民は、他の地域では得られないさまざまな恩恵を地下水から享受している。

そして、なにより西条市民の水への思いを考えると、昭和48年3月に完成した黒瀬ダム建設の経緯を忘れてはならない。まず、黒瀬ダムの建設は、加茂川流域の地下水に影響が出ないよう運用することを大前提に建設が決まったという経緯がある。更に、西条市とその周辺部は、黒瀬ダムが完成することで工業化による発展という恩恵を享受するに至ったが、その背景には、黒瀬地区住民300人余が故郷を離れるという苦渋の決断をされているという事実がある。

しかし、昨今の気候変動による降雨の変化や、森林荒廃などの社会状況の変化により、河川の流量は非常に不安定な状態になっている上、西条平野では、灌漑期に地下水位が大きく低下し、沿岸部において地下水の塩水化が進行するとともに、周桑平野では、扇状地の末端地域で硝酸態窒素濃度が高まっている。

このように、西条市の地下水は、既にその一部が危機的な状況に陥っていることが判明しており、こうした問題の根本的な解決なしには「水の都」に将来はない。

したがって、本市議会は、決して楽観できる状況にない西条市の水をめぐる各種問題を一刻も早く解決するために、市民・事業者・行政が丸一つとなって早期に対策を講じること、並びに、このような状況の中で、分水につながる提案には応じないことを、ここに決意するものである。

以上、決議する。

総務委員会・分科会での主なQ&A

3/8開催
付託議案12件

地方バス路線運行対策事業

Q デマンド型乗合タクシーの導入に関連する取組は？

A 平成31年2月から丹原地域で行われているデマンド型乗合タクシーの実証運行に合わせ、平成31年度からバス路線の改編に向けた協議を行うこととしており、路線バスの利便性を高めることで、バス事業者の収益向上につなげたい。



実証運行中の丹原地域よりそいタクシー

ふるさと納税促進事業

Q 寄附額に対する返礼品の価格割合は？

A 平成30年度の寄附金額は、約1億8,000万円である。返礼品の割合は、当初からおおむね3割程度で、平成29年4月に総務省から通知を受けて以降は、3割以下で実施している。

コンビニ収納導入事業

Q 対応できるコンビニエンスストアと納付方法は？

A 市内全てのコンビニエンスストアで納付できると考えている。受託する収納代行業者により取り扱いが異なったり、取り扱い可能な金融機関が限定されたりするため、まずは、現金による納付を想定している。

福祉文教委員会・分科会での主なQ&A

3/8開催
付託議案12件

産前産後ヘルパー派遣事業

Q 事業の概要は？

A 妊娠期と産後12か月の間、家事・育児が困難な家庭を対象に、無料でヘルパーを派遣する事業である。2時間以内の援助を1日1回、最大20回まで利用できる。

学校給食運営検討事業

Q 事業の進め方は？

A 学校給食の現場における、施設・設備の老朽化や衛生管理などの多くの課題に対応するために、学校給食検討委員会を組織して、平成31年度中に一定の方向性をまとめた基本方針を策定することとしている。

こどもの国費
(プラネタリウム)

Q 休止しているプラネタリウムの再開の見通しは？

A 現在、空調設備の不具合により運用を休止しているが、投影機の型式が古いことから、空調設備復旧後に休止前と同じように上映を再開するかどうかは、今後の検討課題としている。



休止中のプラネタリウム

環境消防委員会・分科会での主なQ&A

3/11開催
付託議案11件

西条市火災予防条例の 一部を改正する条例

Q 条例改正による公表制度の実施により、公表対象となる建物の数は？

A 公表の対象となる重大な違反が確認された建物は、現在18か所となっている。

個人番号カード等交付事業

Q 個人番号カードと健康保険証を一体化しようとする動きの把握状況は？

A 平成31年2月に個人番号カードを健康保険証として利用できるようにする法改正案が閣議決定されたが、現時点ではそれ以上の情報を把握していないため、今後、国・県の動向を注視しながら情報収集に努めている。

塵芥処理費 (指定ごみ袋・ごみカレンダー)

Q 事業見直しの内容は？

A ごみの発生・排出を抑制するため、もえるごみ袋の容量を平成31年度分から約2リットル削減する。また、ごみカレンダーは平成31年度に保存版を作成し、平成32年度から全戸配付を廃止してスマートフォンアプリを導入する予定である。



指定ごみ袋と保存版「家庭ごみ収集日一覧表」

産業建設委員会・分科会での主なQ&A

3/11開催
付託議案13件
請願1件

頑張る農家支援事業

Q 事業の内容と効果は？

A 水田の遠隔水管理システムや施設園芸の栽培環境を把握できるモニタリングシステムなどの導入を支援するものである。これにより、農作業の省力化が図られ、ICTを活用した農業モデルが今後更に広がることを期待している。

ローカルベンチャー 誘致・育成事業

Q コーディネーターの主な活動内容は？

A 市内関係パートナーや地域資源の発掘、起業家の誘致活動のほか、連絡・調整の役割を担っている。

小学校区内通学路の 安全対策事業

Q 3か年事業の2年目であるが、実施する内容は？

A 西条地区3校、東予地区3校、丹原地区2校、小松地区1校の歩道のない通学路について、舗装の打ち替え工事に併せ、外側線や横断歩道を整備するものである。



舗装打ち替え後の通学路

2月20日、平成30年度愛媛県政発足記念日知事表彰において、楠 學議員が地方自治功労を受賞されました。同氏は、平成11年から20年の長きにわたり市議会議員としてその重責を果たしてこられ、市民福祉の向上と地域社会の発展を志向し、西条市の市政伸展に大きく貢献されてきました。

その間、議長、副議長、議会運営委員会委員長などの数



楠 學 議員

多くの要職を歴任し、地方自治の振興・発展に献身的に取り組まれており、現在も精力的に活動されています。

請願・陳情とは？

個人・団体にかかわらず、市政に関する要望や意見を市に伝える方法として、どなたでも請願又は陳情を市議会に提出することができます。

- ◆議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」といいます。
- ◆請願及び陳情は、いつでも受理できますが、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日の午後5時までに受理したものはその定例会中に、それ以降に受理したものは、次の定例会で取り扱うことになります。
- ◆請願は、委員会に付託し、審査ののち、本会議で議決しています。
- ◆陳情は、議会運営委員会での取り扱いを協議します。なお、市民以外から提出された陳情は、その写しを本会議の議席に配付するのみにとどめ、審議は行わない扱いとしています。

編集後記

光あふれる新緑の季節を迎えるとともに、新しい時代の幕開けですね。

初夏の風に身を任せ、大空を悠々と泳ぐこのほりの姿には日本の伝統と美しさが感じられ、晴れやかな気持ちになります。

さて、本号から編集委員会も新しくなりました。これからの時代に求められる市議会となるよう、市議会だよりを通して、皆さんのもとに爽やかな風を吹き込んでいきたいと思っています。



市議会だより編集委員会

委員長	児玉 千春
副委員長	岡村 重治
委員	越智 絹恵
	高橋 章哲
	青野 貴司
	一色 輝雄
	楠 學
	伊藤 新平
	伊藤 孝司
	藤田 節雄

市議会として災害対策を万全に！

3月4日の本会議終了後に、南海トラフ巨大地震を想定した防災訓練を実施しました。

市議会としましては、大規模災害などの非常時においても、議事・議決機関、住民代表機関として議会機能を維持し、迅速な意思決定と、多様な市民ニーズの反映に努めていかなければなりません。

今後も、行政とともに災害に強く、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。



議員の辞職許可

黒川理恵子議員より、一身上の理由により議員の辞職願が提出され、議長は、地方自治法第126条の規定に基づき、平成31年2月20日付けで辞職を許可し、3月定例会初日に議会に報告がありました。これにより、現在の議員数は29人となっています。